

◆秋田親方（元関脇左乃沢）

横綱若ノ嶋関の引退の一報、驚きました。最近では復讐を示していただけに、もっと長く続けて欲しかったし、来場所の関取昇進を決めた達子波もいつか胸をお借りしたかった。平成、令和と2つの時代を彩った名横綱が土俵に別れを告げるのだと思うととても寂しいです。お疲れ様でした。

◆播磨屋親方（元十両龍乃島）

一報が入ったのは広島出張の船の中でした。携帯からメールを確認したので斜め読みだったこともあり「え？若ノ嶋関は今場所優勝したはず！誰かと間違えているのだろう」なんて思っていたのですが、非常に残念でなりません。

若ノ嶋関のことがテレビで放映されて以降、いつかはとの思いでやってきました。

実は我が部屋の不振状況を鑑みて、錦風親方が若ノ嶋の流れを汲む稽古力士を送ってくださいました。そして現在に至るまで我が部屋の力士の8割は若ノ嶋系が基本形となっています。

今後とも若ノ嶋系の力士の輩出は続いていくので、私の中から若ノ嶋関のことを忘れることはありせん。ミスターG同様に永久に不滅です。

心疾患とのことで今後はゆっくり療養していただき、また若ノ嶋関のような後継の力士を育成されることを願っております。

◆鹿賀乃戸親方（元関脇黒雲山）

親方、遂に若関の引退を決意したんですね。満身創痍、傷だらけの若関を溺愛しつつ「若嶋は唯一の生き甲斐、辞めたら僕も親方を辞めることになる」と引退には否定的だったのに。大所からの英断を尊重します。

◆英親方（元横綱英）

今回、苦渋の決断をしたその心情推して知るべし、敬意を表します。

綱の呪縛から解き放たれて、これからは横綱の踏み台に甘んじてきた若い衆に愛情を注いでください。期待しています。

◆磯ノ海親方（元関脇雲丹の花）

長いお勤め大変お疲れ様でした。

若関は、紙相撲協会が曲がり角にさしかかった時から、いつもアンカー役として横綱責務を果たすよう、最後まで力を振り絞って戦ってきましたね。

まずは一休みして下さい。そしてゆっくりしたら後任の育成に励んで下さい。本当にお疲れ様でした。

◆桐壺親方（元横綱虎の富士）

ご連絡を受け、ただただ驚くばかりです。

優勝の直後の突然の引退…。「心疾患」とのご公表ですが、大変なご苦労があった事でしょう。

大変お疲れさまでした。ありがとうございます。

◆横綱春ノ翔（桐壺部屋）

お疲れさんでした。勝ち逃げですか…。

あの千秋楽結びの一番は、一生忘れられない一番になってしまい、悔しさと悔いばかり残り、只々残念でなりません。

横綱の先場所の相撲と肉體改造は、あと10年は取れると思っていました。先に引退を考えていた私にはこれ以上の言葉がありません。

◆勝間田親方（元横綱鞍ノ城）

突然の引退表明には驚きましたが、若ノ嶋関自身が決断されたことなので尊重したいと思います。

現役時代は優勝を争う好敵手として、幾度となくしのぎを削ったものでした。

今場所5回目の優勝を果たしこれからも更に優勝回数を伸ばして、私の6回の優勝を超えていくものと思っております。

いずれは錦風を襲名して後進の育成に尽力されることと思います。長い現役生活お疲れ様でした。

◆九十九親方（元幕内生駒山）

若ノ嶋関、お疲れ様でした。

九十九部屋を再興した12年前はまだ大関でした。次の横綱を目指して恵まれた体力を見せつける、迫力たっぷりの相撲を間近で拝見させていただきました。

ライバル照の王と切磋琢磨し、鞍ノ城と真つ向勝負でぶつかり合い、美空富士や春ノ翔といった若き才能との熱戦の数々、近年は千代鈴の挑戦を受ける。

若ノ嶋の戦歴は平成から令和にかけての紙相撲史そのものといっても過言ではないと思います。

今後は育成で力を発揮し、若ノ嶋のような紙相撲界を盛り上げる力士を輩出してくれるものと期待しております。



123回本場所、横綱英に初勝利（当時新小結）



136回本場所初日、新横綱として初めての土俵入り



166回本場所千秋楽、現役最後の土俵（対横綱春ノ翔戦）



136回本場所、国技館正面にて記念撮影
後ろの幟旗には懐かしい四股名が並んでいる

◆NHK「熱中時間」元編集スタッフ関係者

若ノ嶋関を初土俵前から取材し、十両、幕内、三役、大関、そして横綱とどんどん出世していく若関を見守ってきました。

番組も終了し、続編でその活躍を放送することは叶いませんでしたが、これからも若ノ嶋親方、錦風部屋を応援したいと思います。

お疲れ様、そして負けるな若ノ嶋。